

おかやまビーチスポーツ協会が 設立総会を開催

3月10日

おかやまビーチスポーツ協会は、3月10日午後7時から、岡山・玉野市築港の産業振興ビルの3会議室で設立総会を開催した。

同協会は、2014年9月に洪川海岸で開催され3日間で3000人を集めた「全国ビーチサッカー大会」の盛況ぶりから、「洪川海岸から世界へ」をモットーとして発足した。ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチヨガ、ビーチフィットネスの5種を中心としたスポーツ愛好者をはじめとする多くの支持を得て、地域に基づいた役員構成で、全



黒野玉野市長



三宅会長



おかやまビーチスポーツ協会設立協会の模様

国的に見ても例のない、ビーチスポーツを通じた町おこし団体が設立したものだ。一時的なブームで終わらせず、教室開催や選手育成など、長期的な展望で地域の活性化とビーチスポーツの促進を両立させていく。協会設立の目的は、「青少年の健全な育成」「競技力・技術力の向上」「地域の活性化」を理念に、ビーチスポーツの普及を通じて、海辺の文化、歴史の継承、環境保全とグローバルな人材育成を推進し、地域社会の発展に寄与することであるという。

若いビーチスポーツ選手やヨガインストラクターと一緒にスクールを立ち上げ、子供から高齢者まで、健康的に楽しくビーチスポーツを楽しめることを目的に動いている。黒田晋玉野市長も強力にバックアップしているという。

岡山だけでなく、日本全国の人が、洪川海岸で一緒にビーチスポーツを、いずれば世界への発信基地になれるといいとしている。

設立総会で、会長に、三宅定子ウォーターフロント協会みなとオアシスマイスターが就任した。

三宅会長は「岡山県玉野市を活性化すべく、地の利を活かして、どこの地域にも真似できない、長期継続的な町おこしをやっていく。洪川海岸の砂質は固まらない砂質で傾斜がなく広大、ビーチスポーツに最適という評価を受けているので、2020年東京オリンピックのビーチバレー誘致も視野に入れる。また、ビーチスポーツ選手らの市内移住促進も図りたい」と語っている。

今年度の事業としては、①こども夢基金「体験しようビーチスポーツ」、②セミプロ契約選手、③イタリアセリエAトライアウト、④各種目の教室、⑤各種ビーチスポーツ大会の開催などをやっていくという。